

令和6年度 東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議（第1回）
会議録 概要

日時 令和6年11月7日（木）
午後1時30分から午後3時まで
場所 政策審議会室

出席者（敬称略）：愛知大学経営学部経営学科名誉教授 神頭広好（座長）
東郷町商工会事務局長 近藤克也
三菱UFJ銀行東海公務部副部長 加藤理一
東郷製作所労働組合執行委員長 佐藤教雄
CCNet株式会社東名局局长 久田孝志

事務局： 企画政策部長、専門監、企画情報課長、企画情報課担当者
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（委託事業者）

1 あいさつ

（企画政策部長あいさつ）
（委員自己紹介）

2 議題

(1) 第3期東郷町総合戦略（策定基本方針）について

（資料1-1、資料1-2に基づき事務局から説明）

意見・質問

- ① 資料1-2の愛知県の項目については、県が力を入れている順番で列挙されているということか。（委員）
→ 順番については国でも決められた形式はないが、愛知県の順番が優先度に基づくものであるかは県に確認しなければ分からない。また、東郷町の計画の記載順も、今後優先順位の検討を踏まえて変動し得るものであることをご了承いただきたい。（事務局）
- ② 総合計画の中間見直しが来年度ということだが、その見直しによって、当戦略に影響が及ぶものであるのか。（委員）
→ 中間見直しで総合計画の基本構造を大きく見直すことはない想定している。当戦略は町の最新の状況を踏まえて策定するものであり、この内容が総合計画の内容に入り込むことはあっても、総合計画の見直し結果を受け、逆行して修正されるようなことはない認識している。（事務局）

(2) 第2期総合戦略（R2～R6）の進捗状況について

（資料2に基づき事務局から説明）

意見・質問

- ① 資料2、P4において、新規の企業の誘致についての言及があるが、ここで誘致されたのはどのような業種であるのか。（委員）
→ 物流関連の企業が多い。（事務局）

- ② 子育て支援・防災などの KPI で、大きく低下しているものもあるが、現段階で要因分析はされているか。(委員)
- 子育て支援施策は町としても力を入れているところである一方、意識調査では、全体的に子育てに関連した項目がなかなか評価されていない。この要因については現時点で明確に把握しきれていないが、アンケート実施のタイミングとして、町政のイメージ低下が顕著な時期であったこと、近隣の自治体と比較され、相対的に劣ると評価されたことが考えられる。内閣府の Well-being 指標を見ても、客観的な指標は他自治体と比べても遜色ないにもかかわらず、主観評価の指標は伸びていない。(事務局)
- ③ 前回調査はららぽーと愛知東郷の開業というまちづくり上の大きな影響を受けて、全体として好意的に評価されたという可能性はないか。(委員)
- 前回調査の時期はららぽーとの開業前であるが、施設の外観などはすでに見えるような状態であったため、その期待感が影響した可能性はある。また、その時期は、開始した子育て支援政策が結実し始めた時期でもあり、待機児童が解消されたタイミングである。中心市街地活性化への期待が、子育て支援政策への評価に影響した可能性は少なからずあったと思われる。(事務局)
- ④ 新たな具体的な政策の立案の上ではこうした要因の分析が必要になるかと思うが、その要因の検討・分析については本会議で今後どの程度行うのか。会議の位置付けを改めて確認したい。(委員)
- どの指標がどのように下がっているのかという点について確認するとともに、今後、住民意向調査の結果については、性別や年齢別の集計分析をした上で、次の施策に反映できる視点がどのようなものかを検討する。本会議では、これらの検討の中で注視すべき論点や要望などを挙げていただければと思う。(事務局)
- ⑤ 公共交通の充実については、当組合員からも要望の声がよく挙がってくる事項である。例えば、ららぽーとを起点として、みよしのイオンモールに行く際などに近隣市町との間を行き来する巡回バスなどがあると、親が送迎をしなくても子どもが色々なところに行けるため、便利になるだろうという声も聞くところである。(委員)
- 町長の公約にも、公共交通の充実は挙げられている。来年度以降、担当部署で検討する際に要望として共有する。(事務局)
- ⑥ 愛知県の MaaS 会議では、尾張旭市、瀬戸市において県主導のもとデマンド交通を走らせる事業が新規性のある事業として報告された。必要に応じて県との連携も検討いただくと良いと思う。(委員)
- 参考にさせていただく。(事務局)

(3) 東郷町人口ビジョン(第3期)に係る将来人口推計について (資料3、4に基づき事務局から説明)

意見・質問

- ① 令和2年の実績値は、ららぽーと開業の影響も加味しているという理解で良いか。(委員)

→ もとの数値は社人研の影響を加味された数値であるが、人口の定着に関する想定など一部加味されていないものもある。今後、これらについても考慮していく予定である。(事務局)

② 人口推計について、事務局説明の内容で進めるということに意義はないか。(座長)

→ (各委員異議なし)

→ 人口推計については、これで承認とする。(座長)

(4) 住民意向調査結果について

(資料5に基づき事務局より説明)

意見・質問

① 資料5、P27について、消防・救急の満足度が比較的に低くなっているが、何か要因は考えられるか。(委員)

→ 特段明確な要因は分析できていないが、救急指定の総合病院が日進市や長久手市にはあるものの本町にはないということが影響しているかもしれない。(事務局)

② P39の愛着・誇りについて、このような結果は東郷町に限った話なのか、他自治体でも見られる状況なのか。これをもとにどのように評価すると良いのか参考としてご教示いただきたい。(委員)

→ 内閣府の Well-being 指標では、長久手市などでは客観的指標より主観的指標のほうが高くなっている。このことから、住環境の充実に加えて、これらの認知度の向上やプロモーション、ブランド化の視点も重要な事項であると思われる。(事務局)

→ 弊社で実施した政令市を対象とした調査では、基本的に愛着は誇りより高くなることが分かっている。例えば、福岡市や札幌市など地方の中心地である都市は誇りの得点も高くなる傾向が強い。厳しい見方をすると東郷町の値は両方の数値共に低い。これについては居住期間の短さから、愛着・誇りを感じにくいということは考えられる。また、町外に働きに出ている人が多い中、夜間しかいないとなると、愛着についてもあまり形成されないということが考えられる。(委託事業者)

③ 世帯構成として多く占めていたものは。(座長)

→ 親と子の2世代世帯が大半であった。(事務局)

④ 空き家率についてはどのような状況であるか。(座長)

→ 現時点では特に顕在化してはいないが、今後出てくるであろう問題として認識している。(事務局)

(5) 東郷町の現状と課題について

(資料6に基づき事務局より説明)

意見・質問

① 全体を通して基本目標は分かりやすくまとまっていると思う。基本目標1に公共交通に関する言及があるが、バスやデマンド交通では主眼として扱われている20歳代のニーズをどの程度満たせるかが未知数であるような印象を受けており、例えば、名古屋市内でよく見られるようになった電動キックボード等による移動手段の導入も視野に入れてはどうか。(委員)

- ② 基本目標３に関して、関係人口・交流人口の増加に向けた施策を他自治体でも多く実施していることと思う。こうした視点があっても良いのではないか。（委員）
- ③ 製造業関連に従事する外国人が住みやすい町とすることで、製造業の人材を確保することも方向性としては考えられるのでは。その際には、近隣に住む日本人住民との関係性や種々の課題を整理しなければならないと思う。
- ④ 働きたい仕事の選択肢について、必ずしも東郷町内に仕事を用意されている必要はないのでは。国としても２地域居住を推進しており、例えば、町内のWi-Fi環境を整備するなどの手も考えられるのではないかと思ったところである。（委員）
- ご意見として頂戴した。（事務局）
- ⑤ 基本目標１について、「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所」の具体的なイメージについてご説明いただきたい。（委員）
- 具体的なイメージを示すことはできないが、例えば、若年層では、都会的志向の中で魅力を感じる場所もあるかと思う。個々で異なるものが考えられるが、そうした場所を含めて検討していく必要があると考えている。（事務局）
- いわゆる「サードプレイス」の創出の観点から考える必要があると思う。例えば、皆さんが利用される有名な喫茶店、行きつけの居酒屋、あるいは図書館や心を許せる仲間といられる場所、一人で落ち着ける場所など様々考えられるが、こうしたものをイメージすると良いと思う。（委託事業者）

3 今後の予定・その他

（今後の予定について事務局から説明。その他連絡事項なし）
（企画政策部長あいさつ）

以上